

## 平成 31 年度(2019 年度)履修証明プログラム募集について

### 「発達症への介入による国民的健康課題の解決」

(文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム)

近年、うつ、依存症、不登校、ひきこもり等が年齢を問わず国民の精神的健康を損なう大きな問題としてとりあげられており、就労現場においてアブセンティズム、プレゼンティズム等の問題とともにクローズアップされています。これらの健康問題において発達症(発達障害)、なかでも自閉スペクトラム症(ASD)が大きな背景をなしていることが臨床現場から指摘されるようになりました。一方、ASDの人は適性の合う業務に就くと精神的に安定するとともに優れた能力を発揮することも知られるようになってきました。ASDの人に有効な支援をもたらすには、医師の診療のみならず、ASD独自の精神生理を踏まえたりハビリテーション、心理教育、生活・職業指導、社会技能生活訓練など多岐にわたるアプローチとともに、医療者と医療関連職のチームによる介入が重要です。

京都大学医学研究科は我が国で早期からASDの医療に取り組んできたという経緯と、人間健康科学系専攻という部門で精神科リハビリテーションや精神科看護学などの分野を広くカバーするとともに多様な医療人材を養成しているという特長があります。この地盤を活かし、本事業では本学医学研究科教員、並びに関連分野の専門家の協力と指導によって実施される教育プログラムを提供することになりました。この教育プログラムでは講義と参加体験型実習、および事例分析論文により、メンタルヘルスの問題の背景にあるASDの的確な診断、およびASDの特徴的な精神生理への理解、並びに保育、教育、就労、社会生活などライフステージを通じて生じる課題と問題に対して適切に対応し得るASDのメンタルヘルスにおける国民的健康課題の解決に寄与できる高度専門支援者の育成をめざします。

#### ■履修資格：

医師、歯科医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、精神保健福祉士、公認心理師、臨床心理士、保健師、言語聴覚士、養護教諭、ソーシャルワーカーなどの医療者・医療関連職。ASDの臨床経験を有することが望ましい。

#### ■募集人員

6名

#### ■照会について(事前アナウンス・問い合わせ等は京大HP掲載予定)

発達障害支援医学講座 ホームページ

<http://ndphr.hs.med.kyoto-u.ac.jp/>

特定非営利活動法人神経発達症研究推進機構 ホームページ

<https://www.opndr.jp/>